

(参考様式)

令和6年度 第4回運営推進会議議事録

事業所名	グループホーム 千代の郷		
担当者	佐々木 英子	電話番号	017-737-0810
1. 開催日時	令和 6年 10月 17日 (木) 10時 30分 ~ 11時 00分		
2. 開催場所	千代の郷 ミーティングルーム	今年度開催回数 (4回目)	
3. 出席者	出欠	構成員の属性	
	×	市役所介護保険課事業者チーム	
	○	東部地域包括支援センター	
	○	オンブズマン	
	○	オンブズマン	
	○	町会長	
	×	入居者・家族	
事業所側	高齢事業責任者		
	所長		
	管理者		
4. 活動状況の報告	<p><入居者状況報告></p> <ul style="list-style-type: none">・10/17日時点、利用人数8名（男性1名、女性7名） 要介護1…2名、要介護2…1名、要介護3…2名、要介護4…3名 平均介護度2.75 平均年齢90.88 最低89歳 最高95歳・9/25日付で、入院されていたA氏退居となっています。・11月上旬要介護1、86歳・女性が入居される予定です。 <p><行事>スライドや動画にて説明</p> <ul style="list-style-type: none">・敬老会…最高齢者と卒寿の方をお祝いしました。木戸食品のお弁当と玉子豆腐、職員が作った赤飯・お吸い物を提供すると「いつもと違って豪華だね」「美味しい」と喜ばれていました。また、職員のアトラクションも手拍子をしながら笑顔で楽しませていました。・十五夜…当日は残念ながら雨でしたが、職員が作成した月に利用者さんが食べたいと希望された果物をお供えし、手を合わせお祈りしました。果物を食べ「久しぶりに食べておいしい」と喜ばれていました。・誕生会…9月は3名の方がお誕生日でした。職員の手作りケーキを提供。お誕生日の歌を皆で歌い、お祝いしました。皆さんケーキを美味しく食べていました。		

	<p>・音楽クラブ…皆さんで「夕焼け小焼け」を歌われました。ハンドベルを鳴らしながら楽しそうに演奏されていました。</p> <p><研修等></p> <p>・9/9 安全管理委員会、身体拘束適正化委員会を開催。身体拘束に関する研修・認知症ケアに関する学習会を行っています。10/11 安全管理委員会、高齢者虐待防止委員会を開催。ハラスメントに関する学習会・安全管理に関する研修を行っています。</p> <p><その他></p> <p>・アクシデント 2 件</p> <p>○A 氏要介護 3・女性</p> <p>8/22 (木) 18:50 他利用者対応中、リビングで物音がした為、確認すると増築部の東側非常口付近にて、頭を入口側にして右側臥位で倒れている氏を発見。右大腿部痛の訴え聞かれる。頭部等異常ないも立位困難。防犯カメラで確認するとテレビ前のソファに座ってテレビ鑑賞されていたが、立ち上がり左手を腹部に当て右手でテレビ台や椅子を伝い歩行。椅子より右手が離れるとすぐにふらつき右側へ崩れ落ちるように転倒。頭部はロールカーテンで保護された様子。翌日、ご家族付き添いで整形外科クリニック受診しレントゲン撮影。右大腿部大転子部骨折の診断。</p> <p>○B 氏要介護 4・女性</p> <p>10/3 (木) 20:45 コールチャイムあり訪室しトイレ誘導行。他利用者 C 氏のセンサー感知した為、トイレで待つようお願いし退室。1 分後再訪室しトイレにて下衣の介助を行っている最中に、再度 C 氏のセンサー感知した為、B 氏をベッドに誘導し臥床し掛布団を掛け、少し待つようお願いし退室。その際居室の戸は開けたままにしていた。C 氏を車椅子離床、2 分後に C 氏と一緒に訪室すると居室の戸が閉まっている状態。戸を開けると歩行していた氏が振り返り足がもつれてうつ伏せで転倒。職員 2 名でベッドへ移乗。額に 6×6 cm の腫脹あり、翌日には両瞼に紫斑・腫脹見られ目が開かない状態であった。脳神経外科受診し MRI 検査施行。異常なしの診断。</p> <p>・2 件目に関しては、決められたことを行わなかったことや出勤前の職員にお願いすることができなかったことが要因と思われ、防ぐことができる事故であったと感じました。再度、職員間で対策を共有し確実にやっていけるよう努めていきます。</p>
5. 活動状況の評価	<p>・アクシデントについて、優先順位や対策等よく分析していると感じた。突然のことでも冷静にできるよう共有すると良いと思います。(東部包括支援センター)</p>
6. 主な議題	<p><避難訓練について></p> <p>・10/10 (木) 水害対策避難訓練実施しました。</p> <p>○実施内容</p> <p>平日の日中 14:00 に台風に伴い大雨洪水警報 (警戒レベル 3) が青森市全域で発令されたことを想定。大雨洪水警報レベル 3 が発令され、事務所より各事業所へ連絡が入り、管理者が特養事務所へ集合。各事業所の管理者・</p>

(参考様式)

	<p>施設長が話し合い、理事長に連絡し避難することを決定。管理者が戻り次第、ケアハウス幸陽の2階へ避難を行う。避難終了後、人数確認を行い、所長へ連絡し報告した時点で訓練終了。</p> <p>○反省点・課題について</p> <ul style="list-style-type: none">・新しい職員を優先的に訓練に参加していただいているが、幸陽のエレベーターや階段の位置がわからなかった。訓練前に避難することがあればわからない状態での避難となるため、前もって避難経路について確認しておくべきだと考えた。・幸陽の職員に、幸陽の利用者の避難確認をお願いされたが、グループホームの入居者を見守っており断ってしまった。実際はその場にいた方に見守りをお願いし、幸陽職員以外でも居室を確認しなければならないのではないかと後から感じた。
7. 要望、助言等	<ul style="list-style-type: none">・避難訓練を行ったことで、反省点や課題が出て実りが多かったと思います。(東部包括支援センター)・避難訓練で問題点が出るのが大切、次に繋げることが大切だと思います。(オンブズマン)・避難訓練や事故に対して、真摯に向かい合っているとと思います。(オンブズマン)・1人で1人を避難誘導していると思いますが、1人で2人を誘導するとか、少人数で訓練するとかも試してみたら良いと思います。(町会長)
8. 意見等への対応等	<ul style="list-style-type: none">・毎年、水害対策避難訓練を行っていますが、今まで気付かなかったことに気付くことができました。実際の避難に繋がられるよう職員間で共有していきます。日中想定のため駆け付けてくれる方が多かったです、少人数での避難を仮定しシミュレーションしたいと思います。
9. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none">・次回の開催は、令和6年12月予定です